
無敵の言葉

緒田 玲夜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

無敵の言葉

【コード】

N0169D

【作者名】

緒田 玲夜

【あらすじ】

絶対に大丈夫。それだけが大事な女の子の時間。そんな女の子の1時間です。

(前書き)

何故下手だと分かっているのに書いてしまったのか。疑問です。

「絶対に『大丈夫。』」

昨日貴方が言ってくれた事、私、一生忘れない。

〈12月31日観光文化会館〉

「寛^{かん}ちゃん、私、きちんと出来るかなあ」

「うん、今までいっぱい練習して来ただろ？ 大丈夫だって」

…『大丈夫』が寛ちゃんの口癖。

寛ちゃんに大丈夫って言って貰えると、本当に大丈夫な気がするの。

実際にも…ね。

今日はピアノの発表会。普段はうまいと言われている私だって、この世の中にはもっと上手い人ヒトがいるんだから、不安で仕方が無い。

失敗しちゃうんじゃないかとか、失敗して笑われてしまったらどうしようとか。そんな事ばかり頭をめぐる。でも寛ちゃんさえ傍にいてくれれば、きっと大丈夫。そう思えるの。

ふわっ

「へ…?」

「力抜いて、頑張ればいいんだよ。それだけ。いつも言ってるじゃないか。な?」

なでなで。

気持ち。寛ちゃんの手って、おつきくて気持ちいいの。

久しぶり撫でて貰って、テンションアップ!

緊張してるというも撫でてくれるんだよね。

ハッ!

もしかして、もうこころしたら落ち着くってバレちゃってる?!

…ま、寛ちゃんならいつか。

それから数分後。

『23番 青井^{あおい} 美並^{みなみ} 曲は、『WINDING ROAD』

・・・

私の番がきた。

足が震える。

止まらない。

「どっしょよ…」

声まで震えだして止まらない。

指も……

どっしょよっ、このままじゃあピアノが……

ポン。

「うわ」

「だっから、大丈夫だって言ってるだろ？」

「うん、そうだけど、でも…」

「俺を信じるよ。『絶対に大丈夫。』 良いか？」

「…う、うん！」

手の震えも、足の震えも声の震えも、指の震えも。

さっきまでと同じ言葉だったのに、何故か止まっていく。

ピアノが弾ける…！

「がんばれ！」

「うん！」

+++3分後+++

ふう。やっと終わった…。

「おいおい、大丈夫かよ？」

「うん。寛ちゃんのおかげかな」

「良かったな。失敗しなかったじゃん」

「うん!!」

やっぱり寛ちゃんの言葉は凄い。何でこんなに安心出来るんだろ
う。

優しいからかな？

あれから『大丈夫』って言葉が私の無敵の呪文になった。
きつとこれからも…

絶対に『大丈夫!!』

だよね！

(後書き)

こんな下手な文章を最後まで読んでくださって有難う御座います！
感謝感謝感謝です！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0169d/>

無敵の言葉

2011年1月14日14時19分発行